

2012年9月20日 日本のお手玉の会は設立20周年を迎えます。

NO.

30

# おてだま

OTEDAMA CLUB IN JAPAN

2011年 12月



■ ありがとうの約束



福島県福島市の会員・斎藤朋子さんと福島市飯野町赤十字奉仕団の皆さんにより、東日本大震災の被災地の復興に全国のお手玉の会員の心を届ける。  
**輝くひとみと笑顔で未来をこぼした。**

全国の会員から一針こめられた愛の贈り物

がんばれるよ おばちゃん！  
ありがとうの微笑み浮かべて

**郡山と福島の同好会 福島県が手紙を贈る**  
校長先生が被災地の子どもたちを励まして、同好会をみつけ交流を始めた。

**輝くひとみと笑顔で未来をこぼした。**  
この子どもたちががんばれる復興を願う私たちに大きな希望と力を与えてくれました。

**△お手玉の会・気仙沼市が被災地へおてだまを贈る**  
避難所の方とお手玉で交流

本記事事務局のご報告は、ぜひ

● 神戸で第3回お手玉遊び指導者研修会  
受講者同士で研修し問題解決の場に27名が参加

「がんばろう日本」をスローガンに！  
お手玉遊び近畿ブロック豊岡大会

日本のお手玉の会設立20周年記念のプロジェクト  
第4回「いはまお手玉遊び市民大会」を開催

台風11号にも負けず近畿ブロック大会へ参加  
教育現場や福祉分野への積極的にボランティア活動を実施  
台風12号の被害に対して奈良と和歌山に義援金を  
ねんりんバンク 熊本健康おじやめ大会開催

全国各地から82チーム1500人が参加  
● ゆるまき日本二にまた、あのくまモンも応援参加

長野県飯田人形フェスタに5県の支部から  
お手玉普及・発展をめざす。

● 長野県地域の伝統的な名産を取り入れて  
干し柿型のお手玉(おしなご)作り

ミニお手玉「布石なんご」で遊ぶ！  
とつとりのお手玉遊びの集い  
ミニ座布団を考案。より楽しく遊ぶか  
作り方と遊び方の問い合わせ先のお知らせ

宮崎お手玉の会がスボレク祭典に参加  
子どもが一人で遊べるお手玉ゲームを持参

師範代のお手玉おばちゃん。  
今村ノブミさん(福島県原野)へお手玉を贈り出す向へ。

第17回全国お手玉遊び愛媛新居浜大会開催のお知らせ  
お手玉遊び指導マニュアル集のお知らせ

日本のお手玉の会の武田理事は  
今ひっぱりだこで大評判！  
指導者マニュアル編集  
本が大活躍

新居浜保育協議会の保育士全体講習会でお  
お手玉遊びを実施(今村師範代も実施指導)

中央ライオンズクラブ主催の  
このころのことはコンクールで記念講演



# 会員の思いを込めたお手玉を贈る



お手玉を届ける

日本のお手玉の会では、4月の理事会で、東日本大震災で被災されたみなさんにお手玉を送ることを決め、1年間かけてお手玉を製作し、被災地が落ち着いてきた段階でお手玉を持って慰問に出かけることにしました。

全国の支部と会員のみなさんに、そのことをお知らせしましたところ、全国からたくさんのお手玉が、本部に届いていました。

一方、福島市に住む会員の斎藤朋子さんに、お見舞いの電話をしたところ、ご自分で近隣の被災地区の避難所や小学校、その他の各種施設を訪ねてられ、お手玉で慰問をしてられるとのことでした。

そこで、斎藤さんのご希望もあつて、会員のみなさんからいただいたお手玉の一部を送ることにしました。これまでに、3回に分けて600個のお手玉を送りました。その中には、東京都練馬区にお住まいの人形作家・上妻(こうづま)悦子さんからいただいたお手玉も含まれています。

斎藤さんは、みなさんの心のこもったお手玉を持って、会を代表して施設を訪問しています。その斎藤さんから、会員のみなさんに、報告とお礼の言葉が届きましたのでご紹介します。【P.2】

また、これまでに、支部、会員のみなさんから約3,421個のお手玉を届けていただきました(詳細はP.2)。

また、8月には、新居浜市が編成した気仙沼復興支援団体に、「玉手箱」として、札幌支部のみなさんが作ってくださった100個のお手玉を託しました。箱の中には、「ゆると音がする楽しいお手玉です。みなさんで遊んでみてくださーい」とのメッセージを添えました。

「ご協力をいただきました支部および会員のみなさんに、厚くお礼を申し上げます。」

また、8月には、新居浜市が編成した気仙沼復興支援団体に、「玉手箱」として、札幌支部のみなさんが作ってくださった100個のお手玉を託しました。箱の中には、「ゆると音がする楽しいお手玉です。みなさんで遊んでみてくださーい」とのメッセージを添えました。



# 「気仙沼中学にお手玉を贈る」避難所の方とお手玉で交流

八王子お手玉の会 会長 鈴木幸子

3月11日、未曾有の大震災と大津波に加えて、原発事故の見え過ぎる恐怖と、見えない恐怖の中に被災された方々のことを思い、「何か自分たちに出来る事はないだろうか」と、誰もが自問していました。そんな5月の末、教室は被災された方々が住まわれ、校庭は仮設住宅の建設にあてられ、限られた狭い廊下と隣接する小学校の校庭を借りて、体育の授業を受ける気仙沼中学校の生徒たちの様子が、テレビに映しだされました。

一瞬でも笑顔を見せてほしいと、食い入るように映像を見つめました。少し躊躇したが、次の日、私は受話器を握っていました。

「今学校は遅れた授業のため、お出でいただけでも、その時間をお取りすることができないのです。申し訳ありません」と、お忙しい時間にも関わらず副校長先生は、丁寧に対応してくださいました。

1個の遊びから、コミュニケーション遊び、2個ゆり〜3個ゆりまでの自作の手引書を隅に忍ばせ、お手玉を送らせていただきました。

しばらくして、生徒さんの手紙と写真が添えられ、先生から手紙が届きました。お手玉で幼児と遊んでくださったとありました。先生も生徒さんも被災者のお一人できるように、けなげなその写真を見て

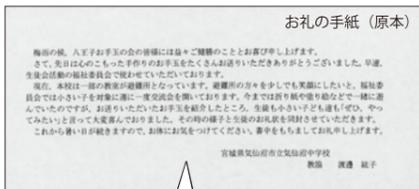


涙があふれました。何も解ってあげられなくて、「ごめんなさい」。笑顔の日が一日も早くおとずれるように、毎日祈っています。

生徒さんからのお礼の手紙



梅雨の候、八王子お手玉の会の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、先日は心のこもった手作りのお手玉をたくさんお送りいただきありがとうございました。早速、生徒会活動の福祉委員会で使わせていただいております。現在、本校は一部の教室が避難所となっています。避難所の方々を少しでも笑顔にしたいと、福祉委員会では小さな子を対象に週に一度交流会を開いております。今までは折り紙や塗り絵などで一緒に遊んでいたのですが、お送りいただいたお手玉を紹介したところ、生徒も小さい子ども達も「ぜひ、やってみたい」と言って大変喜んでおりました。その時の様子と生徒のお礼状を同封させていただきます。これから暑い日が続きますので、お体にお気をつけてください。書中をもちましてお礼を申し上げます。宮城県気仙沼市気仙沼中学校 教諭



お礼の手紙(原本)

## 神戸で第3回お手玉遊び指導者研修会

受講者同士で研修し問題解決の場に

日本のお手玉の会 副会長 北村義雄

第3回お手玉遊び指導者研修会を、平成23年8月27日(土)、28日(日)の両日、神戸市の兵庫県民会館で行いました。

尾道、奈良、八王子、長野、和歌山、東京、大阪、高松、神戸、神戸長田、養父、豊岡の22支部と、関東、信越の2ブロックから、27名が参加しました。

この研修会は、講師がいろいろな体験型のプログラムを提供する初心者向けの講習会とは大きく違つて、研修会参加者が参加者同士で研修をすすめる、受講者自身が自身の問題を解決していく場としました。

### ※研修会の5つの心構え

1. 受講者の皆様には、事前に次のことを伝え、受講に当たっての心構えを促しました。

2. 今回の研修会は、お手玉遊びの指導者研修の集まりであるので、参加者が指導体験や、支部運営の取り組みについて発表する。

3. 新たなお手玉遊びの方法や、指導法を研究している方の技の披露、これまで蓄積してきたノウハウを、みんなで共有し、多くの方に情報発信するとともに、多くの方にお手玉遊びの楽しさ、効用や効果、伝承文化の継承を計ることが出来る研修を目指す。

4. 今年度は、支部長や支部での実技指導者および師範代を対象に、このたび新居浜支部が作成した「お手玉遊びの指導マニュアル」を教材に、一般の方を対象にしたお手玉遊びを指導する際の事例を研修する。

### ※カリキュラムの展開方法

今回の研修では、研修数週間前に受講者に配布した新居浜支部作成の「お手玉遊びの指導マニュアル」を、事前学習することを課題としました。研修会の当日は、事前に学習してきたことを受講者が行ってきたポラントニア活動を踏まえて、「成人編」「介護編」「児童編」の地元への具体的な展開方法について、各自が報告することなどを例に、研修をすすめていただきました。

進行は、それぞれの班で行いましたが、今村シメ子師範代、春田智明副会長、そして本報告者北村副会長が、カリキュラムごとにアドバイザーとして、進行のお手伝いをさせていただきます。

### ※研修会のプログラム

1. 研修会について・講習会の運営について
2. 高年齢者「介護編」の検討
3. 「児童編」の検討
4. 地方大会の開催と運営(審判実習含む)
5. 支部運営の現状と活性化
6. 段位認定とその応用(地域認定)
7. いきいきとした交流会
8. 問題解決のためのテキストを使った意見交換もよかったのですが、交流会の時間は、みなさんの目もつと、いきいきと輝いていました。
9. 研修会の大きな目的の一つは、みんなが相互に交流を深めることです。研修会を通じてみんなの心が知れたところで、その雰囲気の中で新たな技や演技、そして遊び方の紹介をしていただきました。そのため、理解も深まり、和気あいあいとした交流となりました。受講者同士、メールアドレスや携帯番号の交換などを行っている方もおられました。
10. ※新居浜支部と市の関係

1. 高年齢者「介護編」の検討
2. 「児童編」の検討
3. 地方大会の開催と運営(審判実習含む)
4. 支部運営の現状と活性化
5. 段位認定とその応用(地域認定)
6. いきいきとした交流会
7. 問題解決のためのテキストを使った意見交換もよかったのですが、交流会の時間は、みなさんの目もつと、いきいきと輝いていました。
8. 研修会の大きな目的の一つは、みんなが相互に交流を深めることです。研修会を通じてみんなの心が知れたところで、その雰囲気の中で新たな技や演技、そして遊び方の紹介をしていただきました。そのため、理解も深まり、和気あいあいとした交流となりました。受講者同士、メールアドレスや携帯番号の交換などを行っている方もおられました。
9. ※新居浜支部と市の関係



お手玉の実施場面

研修会の発表風景

このとき、神戸市在住で、わらべ歌の研究者で新居浜支部の顧問である神戸大学名誉教授の岩井正浩博士も合流され、短い時間でしたが研修会の中で、「わらべ歌とお手玉遊びについて」お話をさせていただきました。岩井博士は、全国のわらべ歌の採録をされておられ、インターネットでも紹介されています。わらべ歌だけでなく、遊び方も動画で見ることが出来ます。お手玉に関するものも数多くありました。

### ※今後の研修会について

過去2回の研修会では、夜間にも課題検討のための研修を参加者全員を対象に行なっていましたので、受講者の体力的なことも配慮して年齢制限を設けていました。

今回は、夜間は発表希望者のみの発表会とし、受講者の年齢制限を外したこと、支部長クラスの方の受講者が数人ありました。

このようなことから、各支部の研修を希望される方は、この3回の研修会ではほぼ受講されたと思われまますので、今後、継続して研修会を開催するかどうかは、改めて検討していただくことにいたします。

# 「がんばろう日本」をスローガンに！

## お手玉遊び近畿ブロック豊岡大会

近畿ブロック長 北村義雄  
大会実行委員長 中嶋則子



■第4回お手玉遊び近畿ブロック大会  
会場：豊岡市、日高文化体育館  
他県からの大勢の参加ありがとうございました。

第4回お手玉遊び近畿ブロック大会を、11月27日(日)、豊岡市の日高文化体育館で行いました。この大会は、但馬地区お手玉の会の4支部豊岡港地区お手玉の会、日高玉ゆりの会、やぶお手玉の会、たじまJ A女性会)が中心になって運営しました。

近畿ブロックでは、大会の実施に当たって大会を開催担当する支部のみに人的・金銭的な負担がかからないよう、近畿の各支部から人材の派遣や大会運営費の一部を負担金として拠出したこととにしています。参加費や負担金でなるべく大会が行えるように簡素化し、寄付を募ることや行政への補助金確保などの努力を軽減することに努めています。今回の大会では、市の体育館の使用料の

減額や施設利用の便宜を図っていたり、など、行政の支援を受けましたが、窓口での使用料の減額の依頼で済むなど、行政の配慮もあって主催者の負担は軽減できました。

大会には、奈良支部や和歌山支部をはじめとする近畿11支部と地元住民、そして、広島県、京都府、長野県からの参加を得て、総勢180名で賑わいました。その模様は、後援いただいた神戸新聞に取り上げられ、広く県民の皆様方にお知らせすることができました。

大会は、個人戦(一般5種目、小学生3種目)と、団体戦(トーナメント戦と敗者戦)、お手玉演舞、パフォーマンスという内容でした。



■団体戦競技の場面

■一斉に個人競技

団体戦は、トーナメント方式で行い、一般の部は43チーム(1チーム3人)が技を競い、和歌山支部の「ななこの会」が優勝を飾りました。対戦は、従来のリングリーグ方式から敗者戦方式に代えて、時間の短縮を図りました。

個人戦は、一般の部は5種目で行いました。両手3個ゆりの部で養父支部の伊藤かをるさんが優勝し、県民局長賞が授与されました。

両手投げ3個ゆり(ジャグリング)の部は豊岡支部の岡本はるみさんが優勝し、豊岡市長賞が授与されました。片手2個ゆりには約120名の参加者がありました。

小学生の部は3種目を行い、尼崎支部の児童たちが受賞しました。日頃の練習の成果によるものですから、入賞者はずがすがすがしいお顔で受賞されておられました。

県民局長賞は、兵庫県但馬県民局長の石井孝一様から、直接、授与していただきました。石井局長は、祝辞と挨拶のあと、背広のポケットからお手玉を取り出し、ご披露いただくというパフォーマンスもありました。

これも、日頃からの但馬地区のお手玉の会の支部の方々が、行政とのつながりを大切にしている証と感心しました。

パフォーマンスでは、但馬地区の委員と交流のあった尾道お手玉フレンドの3名の師範代(小川、山根、横の各氏)の出演で、みなさんを感じに包みましました。後援いただきました方々に、感謝して報告とします。

お手玉演舞の共演では、観客と一体と

## ●日本のお手玉の会設立20周年記念のプレ事業

### 第4回にはまお手玉遊び市民大会を開催

なった演舞を演じた「J A京都にのくに」が、出場8チームの中で1位となりました。演舞大会の審査には県民局長にも加わっていただきました。

大会に先立ち26日には、前夜祭を豊岡市の城崎温泉近くの民宿よしおかで、行い8支部が参加しました。お互いに特技を披露しながら盛り上がり、夕食には解禁となった「松葉がに」をお腹一杯いただきました。

この大会では、「がんばろう日本」のスローガンのもと、募金活動も行いました。東日本の大災害に対する募金と、近畿でも台風によって被害を受けた奈良、和歌山に対する募金を行うことができました。

大会当日、お手玉などのバザーを行いました。この売上金も被災地への支援金として、提供いただきました。募金で集まった支援金は、それぞれの地域の社会福祉協議会などに関係のある支部を通してお渡ししました。

最後になりましたが、来年の近畿ブロック大会は、今大会の団体戦で優勝された和歌山支部の担当で、開催していただくことになりました。大会は、平成24年11月11日(日)、前夜祭は10日(土)で、会場は和歌山市出島にありますプラザホールです。

今大会は、思い出多い楽しい大会となりましたが、大会に参加いただいた方々、運営に関わっていただいた方々、そして後援いただきました方々に、感謝して報告とします。



■児童三人仲良く、声高らかに選手宣誓で競技大会の幕開け

新居浜支部 事務局長 長井秀旗

新居浜支部は、10月23日(日)、「お手玉で笑顔の絆を深めよう」をスローガンに、第4回にはまお手玉遊び市民大会を、銅夢にいほまで開催しました。この大会は、来年、日本のお手玉の会設立20周年と、日本のお手玉の会の誕生地の新居浜市が市制施行75周年を迎えるのを記念して開催される予定の、第17回全国お手玉遊び愛媛・新居浜大会の「プレ事業」として行いました。

大会には、来賓として、佐々木龍新居浜市長、伊藤藤子新居浜市議会議員、阿部義澄新居浜市教育長、児童文学作家の大西伝一郎さんをお迎えしました。また、競技には、新居浜市民をはじめ、尾道、高松、観音寺、徳島、今治、松山など、県外、市外からの参加とあわせて、小学生からご年配の方まで200人の参加がありました。

競技は、投げ玉遊びの個人戦(一般4種

## ■近畿ブロック豊岡大会 競技の入賞者は次の通りです。

部門別	種目別	優勝		準優勝		敢闘賞		
		氏名またはチーム名	支部名	氏名またはチーム名	支部名	氏名またはチーム名	支部名	
個人戦競技	一般の部	両手2個ゆり	石橋 妙子	和歌山	木村 和子	豊岡	田村 節子	奈良
		片手2個ゆり	田村 清野	養父	平田 みどり	豊岡	尾畑 博美	豊岡
		両手3個ゆり	伊藤かをる	養父	小田 彰子	たじまJA	宮崎 広子	神戸
	小学生の部	両手投げ3個ゆり	岡本はるみ	豊岡	小野 山道子	養父	加藤 五鈴	JA京都
		両手3個ゆり	福永 行洋	奈良	森 勝代	和歌山	長谷川 かずこ	日高
		両手2個ゆり	上坂 万優	尼崎				
団体戦競技	一般の部	ななこの会	和歌山	やぶ C	養父	日高玉ゆりの会D	日高	
	敗者復活戦	やぶ D	養父					
	小学生の部	よく健闘したて賞	尼崎					
	お手玉演舞	JA京都にのくに		奈良お手玉の会「たまゆら」		日高玉ゆりの会		
一般の部	但馬県民局長賞	伊藤かをる	養父					
一般の部	豊岡市長賞	岡本はるみ	豊岡					



■大会副実行委員長(新居浜生涯学習大学長)長野美和子さんによる、小学生の個人戦入賞者の表彰式場面



新居浜市職員の多くの皆さんが、大会前に審判講習を受けて、当日の大会に協力してくださりました。



■一般の部  
団体戦競技の風景

【個人戦・一般の部・入賞者】▽両手4個ゆり▽優勝・小川時子(尾道市)、2位・山内サヨ子(新居浜市)、3位・武本京子(同)▽両手3個ゆり▽優勝・高橋喜美子(同)、2位・伊藤恵久子(同)▽両手投げ3個ゆり(ジャグリング)▽優勝・屋鋪大三郎(同)、2位・清水由記子(尾道市)、3位・近田敏子(新居浜市)▽片手2個ゆり▽優勝・横井富枝(同)、2位・坂上シゲ子(同)、3位・大木イヅエ(徳島県勝浦町)

【個人戦・小学生の部】▽優勝・勝浦こどもお手玉の会(徳島県勝浦町)、2位・神郷お手玉ちびっ子クラブ(新居浜市)、3位・神郷小学校TKSお手玉(同)

【団体戦・一般の部】▽優勝・尾道お手玉フレンド(尾道市)、2位・新居浜高専チームD.T.(新居浜市)、3位・川東おじやみ(同)

【団体戦・小学生の部】▽優勝・中西未咲(徳島県勝浦町)、2位・水沼なみ(新居浜市)▽片手2個ゆり▽優勝・池本惇敏(同)、2位・池本貴俊(同)▽両手2個ゆり▽優勝・小野将樹(同)、2位・小野高志(同)

# 台風12号にも負けず近畿ブロック大会へ参加

教育現場や福祉の分野への積極的なボランティア活動に向く

奈良支部 奈良お手玉の会  
支部長 田村節子  
全国の会員の皆様、お元気で活躍のことと存じます。台風12号の折には、多くの会員の方から、お見舞いの電話をいただき、ありがとうございます。

幸い、私たちの支部の会員には、災害もなく、ホッとしています。ご実家が被害に遭われ、後片付けのため、今も活動を休まれている方がいます。

そうした中、11月27日に豊岡で近畿ブロック大会に参加しました。義援金箱が置かれていました。参加された支部の方はもちろん、一般の方々の暖かいカンパを、私たち奈良支部と和歌山支部でいただきました。たいへんうれしく、本誌をお借りして、厚くお礼を申しあげます。

私たちの支部に、ご家族が災害に遭われた方もおられる中で、支部の会員一同が、一杯がんばって、今年のスケジュールをこなしました。

8月5日(月)の、信州おしなごの会のお手玉教室にも参加させていただきました。皆様方の歓迎ぶりに、感謝、感謝でかえってまいりました。

10月16日(日)の「ならまちわらべうたフェスタ」では、舞台での演舞発表とお手玉遊び、そしてお手玉体験コーナーには、多くの人たちの参加があり、大いに盛り上がりました。

その中でも、子ども向けの級位認定コーナーと、お手玉作りコーナーには、親も

子ども一生懸命でほほえましく思い、私たちが心暖まるものを感じました。

また、10月23日(日)の奈良町センターのお手玉教室は、どの顔もすてきな笑顔で、私たちがやりがいを感じることで、さすがお手玉、だと思いました。

教育現場や福祉の分野へのボランティア活動の他に、今年も私たちの活動のメインは、私の住む京都南山城町と城陽市での支部立ち上げに向けて、多くの交流会を持ったことに尽きると思います。

支部の会員が、高齢化していく中で、お互いのイベントには、助け合うという姉妹支部として、今後すすんでいこうと思っています。

私も、相談役として、微力ながら、がんばりたいと思っております。新しい支部「村人おじやみの会」(仮称)は、来年早々に設立する予定です。



# 「おいなあよう〜こんな和歌山へ」

平成24年の近畿ブロック大会を開催

和歌山のお手玉の会  
会長 森 勝代

11月の近畿ブロックお手玉遊び大会に、7名で参加しました。

交流会では、おいしい蟹料理をたくさんいただき大満足でした。また、楽しいすぐに役立つお手玉遊びを教えてください。深夜12時近くまで、隣の部屋の我が先輩のお姉さんが、翌日の演舞の「いちご電車」の特訓がつづき、そのパワーに、私達後輩のメンバーは、びっくりするやら、感心させられました。

翌日、会場に着くと、かわいい「お手玉の木」が迎えてくれました。「がんばれ日本」のお手玉も販売してくれました。

団体戦で優勝でき、個人戦では、「両手2個ゆり」で優勝、「両手4個ゆり」で準優勝の成績でした。和歌山支部では、近畿大会で初めての賞獲得で、みんな、「参加してよかった」、「例会でも、もっと練習しよう」と、誓い合いました。

演舞では、ねこの「スーパードール」の「たま」がいる貴志川線のピーアールもできてよかったです。

また、奈良と和歌山に12号台風の被害に対する義援金をいただき誠にありがとうございました。後日、和歌山県庁に届けました。この紙面をお借りして、皆様の温かいご支援に感謝し、お礼を申し上げます。

平成24年の近畿ブロック大会は、11月11日(日)、前夜祭は10日(土)に和歌山市出島にありますプラザホープで開催します。温かいおもてなしができるかどうか自信はありませんが、これからメンバーが力を合わせて準備をすすめます。「スーパードール」の「たま」がいる貴志川線・和歌山城・高野山・全線開通した紀勢線で熊野古道や南紀の温泉も楽しめます。おいしい果物もあります。海の幸・山の幸のある「こんな和歌山」に「おいなあよう〜」お待ちしています。

# 和歌山「ななこの会」です。



近畿ブロック大会で団体戦競技で優勝しました。仲間と一緒に思い出の記念撮影です。



第1回お手玉大会和歌山お手玉教室開催

# ねんりんピック 2011「熊本健康おじやめ大会」

九州ブロック 熊本支部

会長 荒木千鶴子



■中原先生と子どもとくまモンと一緒にお手玉遊びを楽しむ。



■子ども達のお手玉ゆり

ねんりんピック2011「熊本健康おじやめ大会」を、平成23年10月16日(日)に熊本県御船町のスポーツセンターで開催しました。全国からたくさんの方々が参加されました。心から感謝しています。

大会の開催にあたっては、私たち熊本おじやめの会が中心の運営委員で、2年前から準備に取りかかり、熊本県ねんりんピック推進課へ、ねんりんピックへの参加の許可を得るため何度も足を運びました。

その結果、熊本おじやめの会が、発足当時からおじやめ(お手玉)の普及活動として幼稚園・保育園・学校・施設などでボランティア活動を行ってきた実績が認められ、ねんりんピック協賛イベントとして参加できることになりました。

おじやめ大会がねんりんピックに参加するのは、全国ではじめてです。ただし、熊本県からの助成金は、一切ありませんでした。

その情熱が御船町に伝わったので、よう。町から助成金がいただけることになりました。それに、準備金として、これまで熊本おじやめの会で遣り繰りをして作った資金と、多くのボランティアの方々の協力を得ることができ、大会を開催できる運びとなりました。感謝しています。

本来、ねんりんピックは、60歳以上の方の参加を対象とした大会なのですが、おじやめの交流は、子どもから高齢者までを対象として普及活動を行っています。そのことを、熊本県の推進課の方からも認めていただき、「子どもと高齢者とのふれあいとして、いちばん理想的な姿なので、年齢に関係なく実践してください」といつていただきました。

こうして、全国初のねんりんピック「健康おじやめ大会」が実現しました。

団体戦には、県外から東京・和歌山・兵庫・広島・福岡・長崎・鹿児島と、全国から82チーム、個人戦には、150人を超える参加をいただきました。会場には、見学者と応援の方々で1000人を超える人が詰めかけました。会場は、笑顔がいっぱいで、参加者全員がおじやめを楽しんでくださいました。

当日は、「大会記念お手玉認定」などを設置し、「アトラクション」では、「ゆるきゃらランプリー」に選ばれた「くまモン」も参加し、中原先生とおじやめをゆるな



■ゆるきゃら日本一の「くまモン」も参加出演

どして会場を盛り上げてくれました。

また、熊本の「肥後のタンタン節」の音楽にのって、会場全員が踊りの輪に参加するというサプライズもあり、スポーツセンター内は、笑顔いっぱい、暖かい雰囲気になります。みなさんの心が癒されるひとときとなりました。

いまいちど、全国から参加していただき、ありがとうございました。心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。



■団体戦競技開始の審判説明風景

団体戦の成績は、次のとおりです。  
【優勝】尾道お手玉フレンド(広島県)  
【2位】ゆりの会B(鹿児島県)  
【3位】ひまわり益城(熊本県)

# 本部事務局の「こぼればなし」



題名「夏の宵」  
日蘭芸術交流祭 受賞作品  
欧州文化首都賞 こちらの作品が、イタリア政府から栄えある「芸術大賞」輝きました。  
日本人形作家 上妻悦子

平成23年12月末のある日・本部事務局での「こぼればなし」  
室山ー 武田さん、東京の上妻(ごうごう)さんからお電話です。

武田ー はい、武田です。それは、おめでと〜でございます。よろしくお願ひいたします。(電話の主は、人形作家の上妻悦子さんでした。)

増原ー 上妻さんから、うれしいお話のようですね。武田ー そうなんです。増原さんが、上妻さんのお手玉を人形の写真と一緒、ケースに入れて、記念品にしてくださいました。あれを、室山さんから上妻さんに送っていただいたんですが、そのお礼なんです。

増原ー どうでした。  
武田ー こんなに立派なものにしていただき、増原さんのアイデアに感動していただいています。それと、あの写真の人形「夏の宵」は、10月にイタリアのローマ博物館で展示された人形展に出展されたのですが、400点の作品の中で、「芸術大賞」に選ばれたそうです。

増原ー 気に入っていただけてうれしいです。「芸術大賞」とは、たいへんおめでたいことですね。  
武田ー 「芸術大賞」に対してイタリア政府から銀製の立派な盾が届いたそうですよ。

室山ー 銀製の盾ですか。すごいですね。武田ー それと、上妻さんは、脳を鍛え創造力を高めるために、包装紙を箸袋の大きさに切り、折り紙にして使っているそうです。全国お手玉遊び大会までに「辰」折って、参加者にプレゼントしてくださいそうです。

室山ー うれしいですね。どんな「辰」のか楽しみです。  
平成23年12月25日

# 飯田人形劇フェスタに5県の支部から参加 お手玉の普及・発展めざす

長野支部 信州おしなごの会  
事務局 河合正則

今年も暑い夏でした。夏は飯田人形劇フェスタの季節で、今年も8月4日から始まりました。

人形劇フェスタには、多くの劇人が全国はもとより海外からも参加し、4日間に400を超える公演が行われました。会場は、公民館が主になりますが、神社や寺も使われます。

4日間フルに公演するもの、1回の公演だけで後は他の劇団を見学するものなど、劇人の参加形態はさまざまです。また、人形劇の内容も、「いつこく堂の腹話術をはじめさまざまです。」

ところで、信州おしなごの会は、この人形劇フェスタに、お手玉の普及・発展を目指して、毎回、参加しています。午前中は、お手玉作り、午後は、技の講習、競技会、段位認定、演舞の講習と、盛り沢山のスケジュールをこなしています。



■信州おしなごの会は、人形劇フェスタに参加しお手玉の普及活動をめざしています  
■小学生の男の子が上手にお手玉を作り上げている真剣な姿です。

## ミニお手玉（布石なんご）で遊ぶ！ とつとりのお手玉遊びの集い



鳥取支部  
とつとりのお手玉の会  
会長 福田 環



とつとりのお手玉の会(倉吉市)は、平成23年11月15日(火)に、第12回とつとりのお手玉遊びの集いを、神奈備(かななび)ふれあい館(西伯群伯備町)で開催しました。「ミニお手玉(布石なんご)で遊ぶ!」というテーマで行われた集いには、鳥取市、倉吉市、遠くは尾道市から会員50人あまりが参加しました。

まず、男性会員が、お手玉遊びの妙技を披露。その鮮やかな技に拍手が送られました。つづいて、とつとりのお手玉の会が考案した、「ミニお手玉による「布石なんご遊び」が、グループに分かれて行われ、失敗するたびに、上手にできるたびに、笑いと歓声があり、楽しいひとときを過ごしました。

また、運針大会では、参加者が、とつとりのお手玉の会が考案した、「ミニお手玉づくり、お手玉座布団づくり」に取り組みました。その作り方については、別の項で紹介しています。

最後に、尾道お手玉フレンドのみなさんによる、お手玉の妙技で、楽しい集いを閉じました。

参加者の一人は、「とても楽しい集いでした。笑顔がいっぱいで、10歳くらい若くなった感じがします」と話していました。

お手玉作りは、小学生が上手に作り上げ、完成の喜びを味わっていました。また、競技会では、初めてお手玉を手にした参加者が、わずかな練習で両手2個ゆりに挑戦し、苦心さんたんしていましたが、そのチャレンジ精神は、見事なものでした。

段位認定には、6人が合格し、感激していました。熊本県、福岡県、奈良県、愛知県、埼玉県など、全国各支部から、この催しに参加していただき盛会でした。深く感謝いたします。

来年の8月にも、このような会を開催する予定です。ぜひご参加ください。

### 地域の伝統的な名産を取り入れて 干柿型のお手玉（おしなご）作り



信州おしなごの会  
会長 篠田圭依子

信州おしなごの会の例会を、11月19日(土)に行ないました。例会には、当会の会員のほか、尾道お手玉フレンドの平田邦子さん、山根三重さん、あいちお手玉の会の井上勝子さんが参加しました。今回は、お手玉(おしなご)作りが主題で、信州(長野県伊那谷の名産「市田柿」)干柿を形どったおしなごがテーマでした。市田柿は、冬の陣に徳川家康に陣中

見舞いとして献上したといわれる由緒ある名産品です。これを、遊び道具の一つにしようと考えました。

作り方は、次のとおりです。まず、日本の伝統文化であるので、着物の文化の一部「くしじつけ」(着物の背縫いの被(きせ)を取り入れて、アイロンをかけます。

「くしじつけ」の位置は5ミリ内側に、1ミリの表針目、3ミリの裏目にあやかり、祈りを込めて縫っていきます。

作る寸法は、縦11センチ、横20センチです。材料は、綿ローン水玉模様をパールトン加工します。中身は、数珠玉、エゴと別々に2つ作りしました。

最後の仕上げは、縫い立ちめてから、「帯(た)作り」は糸4本を束(そく)に結び、結び玉を3個作ります。そして糸を2本に分けてから結び玉を一つずつ、合計5つに仕上げます。

これで、脳の神経を活発にさせ心地よい、また、楽しい気持ちになります。そして、日本文化を世界に伝承することができます。

当日は、上手に縫い上げた人に、「認定証『干柿型』おしなご作り」をお渡ししました。

当日は、昼食前に、花柳流の吉夫美輔先生に、お手玉演舞の指導を受けました。

両手にお手玉を1つずつ持って、音楽は「桃太郎」「むすんでひらいて」「石なごの」(西行法師の短歌)使い、目の位置、美しい手、姿勢、足の位置などの指導を受けました。



■布石なんごの作り方をVTRの一場面から

### お手玉座布団を作ってみませんか。

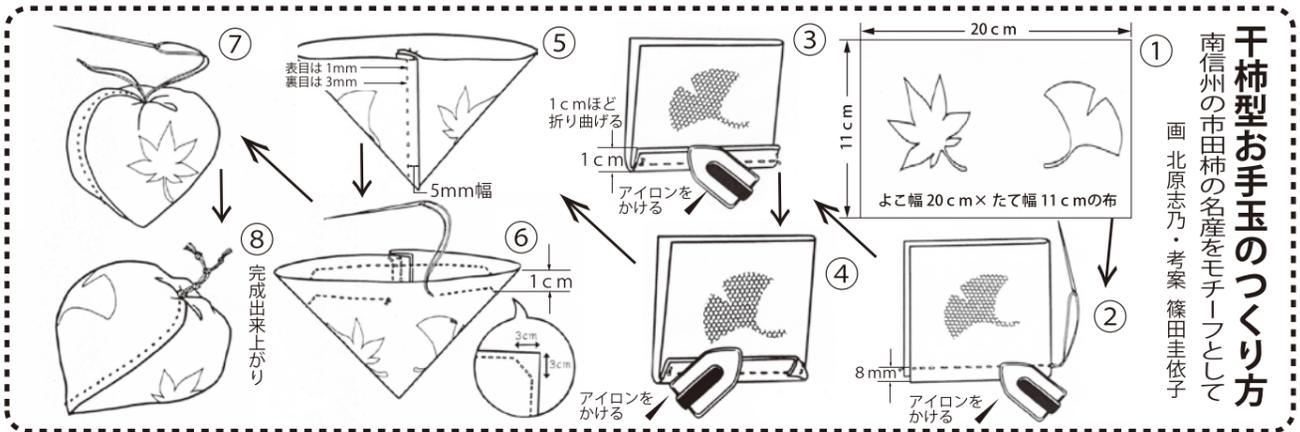
とつとりのお手玉の会では、もう一つ「ミニお手玉座布団」の普及をすすめています。古い着物から再生して作るミニ座布団の寸法は、すべて、タテとヨコを3対2で作ります。たとえば、36センチ(並幅)対24センチが基準です。

とつとりのお手玉の会では、この座布団を「癒しの座布団」と呼び、多くの人にすすめています。とくに、絹布で作る座布団は、とてもやさしくて、きれいで、懐かしくて、かわいいと評判です。

このお手玉座布団も、とつとりのお手玉の会(福田環会長)が、平成21年12月に、布に包んだミニお手玉で遊ぶ方法として考案したものです。

### 「布(石)なんごの遊び方、 「ミニお手玉座布団」の作り方の詳細についてのお問い合わせ先

とつとりのお手玉の会  
福田環会長さんにお問い合わせください。  
電話：0855・8228・0889  
携帯：0905・4698・0993



干柿型お手玉のつくり方  
南信州の市田柿の名産をモチーフとして  
画 北原志乃・考案 篠田圭依子



### ミニお手玉座布団

寸法はすべて、4枚の布  
たて：よこ3：2で作ります。  
(36cm(並幅)：24cm)



■ミニお手玉(布石なんご)は30個~100個用意します。



■親玉を上へ投げた瞬間に

親玉を上へ投げたとき瞬間に下側のミニお手玉を何個とることが出来るかを競い合います。捕れた数を記録しておきます。



■楽しかったお手玉遊びの集い  
このようなグループの輪が4~5グループに分かれそれぞれに、布(石)なんごのお手玉を拾いあいお手玉で絆を広め合い普及活動の機会となりました

新居浜市市制施行75周年記念支援事業

# 日本のお手玉の会設立20周年記念 第17回 愛媛 新居浜 全国お手玉遊び大会の開催

2012年9月29日(土) 前夜祭 特別記念講演会

会場：リーガロイヤルホテル新居浜 時間：14:00～15:00  
講師：医学博士・日本大学大学院教授 森 昭雄  
演題：ゲーム脳はお手玉で改善できる ～お手玉は壊れた脳を改善し活性化する～ (仮題)

シンポジウム ●テーマ「子どもの脳の発育と創造性の開発と『お手玉』」(仮題)  
時間：15:30～16:30

パネリスト / 医学博士・日本大学大学院教授 森 昭雄 (参加予定)  
白百合人形研究会主宰・日本人形作家 上妻悦子  
教育学博士・鹿児島大学名誉教授 山本清洋  
詩人・日本童謡協会副会長 宮中雲子  
医学博士・愛媛労災病院名誉院長 伊藤雅治  
コーディネーター / 日本子どもの発達研究所講師 岩城敏之

交流会 ●テーマ「笑顔の交流で友情の絆を深めよう」(仮題)  
時間：18:00～20:00

開催日 2012年9月30日(日) 競技大会  
会場：リーガロイヤルホテル新居浜 時間：9:30～16:00  
個人戦競技・団体戦競技

主催 日本のお手玉の会 新居浜支部 全国お手玉遊び大会実行委員会  
共催 新居浜市・新居浜市教育委員会・愛媛新聞社  
後援 文部科学省 厚生労働省 総務省 愛媛県 新居浜市教育委員会 新居浜商工会議所  
新居浜市観光協会 新居浜市商店街連盟 新居浜青年会議所 新居浜商工会議所  
青年部 新居浜市まちづくり協働オフィス 一宮の社ミュージアム実行委員会 新居浜市  
保育協議会 新居浜市社会福祉協議会 新居浜市連合婦人会 新居浜芸術文化協会  
新居浜市倫理法人会 新居浜別子倫理法人会 石鏡みすゞコスモス おもちゃ図書館  
きしゃポッポ 新居浜女性テニスクラブ 愛媛新聞社 NHK松山放送局 南海放送  
あいテレビ テレビ愛媛 愛媛朝日放送 ハートネットワーク(CATV) (申請予定)

開催の趣旨  
この大会は、日本のお手玉の会設立20周年と新居浜市市制施行75周年の記念大会として実施いたします。  
日本のお手玉の会は、平成4年9月19日、新居浜市に誕生して来年20周年を迎えます。また、新居浜市は、昭和12年に市制を施行して来年75周年を迎えます。この2つの記念事業として開催いたします。この記念大会に、全国からお手玉ファンを新居浜市に迎え、伝承遊びに対する理解を深めるとともにその継承に役立ちます。また、お手玉遊びをとおして、お互いの心と心をつなぐ交流を図り、友情の絆を深めることを目的とします。さらに、お手玉遊びによる子どもの脳の発育について考える講演やシンポジウムを開催し、お手玉遊びが精神的な安定への可能性について考える機会として、素晴らしいパネリストに参加を依頼し語っていただきます。

## お手玉遊び指導マニュアル集ができました。

だれでもできる お手玉遊び 曲付き 指導マニュアル集

- ◆導入編 (13 ページ)
- ◆幼児編 (15 ページ)
- ◆児童編 (21 ページ)
- ◆成人編 (25 ページ)
- ◆介護編 (17 ページ)

【導入編を含む5部作です。】 大評判です。

指導する場合にも音があれば 雰囲気演出もできる  
BGM 編集曲(1枚7曲入り) 曲のみで映像はありません  
あんたがたどこそ 曲のみです  
一番はじめは 曲のみです  
むすんでひらいてなど

イラスト図解や写真で解りやすく、使いやすい。導入編以外、各編 (CD音楽) 付きです。

お手玉遊びの指導マニュアル集(導入編を含む5部作)

新居浜支部発行 お問い合わせ /0897-32-0302

- お求め方法と価格 導入編以外はすべてCD音楽付きです。
- 1.【導入編含む5部セット】……………7,000円(税込)
- 2.【導入編と幼児編の2部】……………2,500円(税込)
- 3.【導入編と幼児編と児童編3部】…4,000円(税込)
- 4.【導入編と介護編の2部】……………2,500円(税込)
- 5.【導入編と成人編の2部】……………2,500円(税込)
- 6.【導入編と幼児編・児童編・成人編の4部】……………5,500円(税込)
- 7.【それぞれの単独編1冊】……………1,500円(税込)

BGM(曲)のみ希望の場合……………1枚 1,500円(税込)  
送料はすべて別途となります。

お知らせ



みなさまのご参加をおまちしております。

## 宮崎お手玉の会ス。ホレク祭典に参加

宮崎お手玉の会 会長 弘田和子

今、伝承遊びが新しい  
宮崎お手玉の会では、宮崎市レクレーション協会と一緒に、いろいろなイベントで伝承遊びを紹介しています。もちろん「お手玉」が中心ですが…。ほかに、コマまわし、あやとり、皿回し、つみき、輪ゴム鉄砲、ぶんぶんコマ、かっぽかっぽなど、さまざまな遊びを紹介しながら、子どもたちと遊んでいます。今、伝承遊びは、子どもたちに新しい遊びとして、人気を呼んでいます。



スボレクの祭典 (子どもたちと)

## 「ドングリお手玉」を作って遊ぶ!

子どもたちが、一人でも遊べるお手玉ゲームをつくり持参披露し好評をほくす。中央公民館まつりでお手玉と折り紙



子どもが一人で遊べるお手玉ゲーム  
■ みんなが集めたドングリの実

宮崎お手玉の会では、11月26日(土)、27日(日)、「中央公民館まつり」に協力しました。日ごろ、例会の会場としてお世話になっている公民館です。祭りを盛り上げるために、お手玉・折り紙体験講座を開催しました。2日間で、一番たくさんの方々が訪れたコーナーとなりました。さまざまなお手玉の紹介をはじめ、「ドングリお手玉」づくりと、お手玉の遊びでした。秋の小道にたくさん落ちていた「どんぐり」と、ミカンなどが入っている「ネット」を使って、お手玉を作りました。簡単なので、小さな子どもたちも大喜び。あつという間に、準備した50個分の材料がなくなりました。そのほかに、クリスマスにちなんで、サンタクロースの折り紙など、多くの来場者と一緒に楽しく過ごしました。



神武大祭昭和の遊びを行う



定例会で紙バンドでお手玉作り

## 師範代のお手玉おばちゃん

今村シメ子さんが福島原発避難所の「仮設住宅」へお手玉で慰問に出向く



写真説明 写真右から、斎藤朋子さん、川元富美子さん、今村シメ子さん、そして、慰問先の福祉施設の方です。

新居浜支部副支部長の今村シメ子さんが、11月30日、12月1日の両日、お手玉を段ボール箱に詰めて、福島市の震災や原発事故による避難所や仮設住宅、保育所などを訪ね、みなさんに元気になってもらいたいとお手玉で慰問しました。今回は、今村師範代のご夫妻と、今村さんの姉で師範代の川元富美子さんご夫妻(広島県呉市)の4人で出かけられました。事前に、福島市在住の会員の斎藤朋子さんと連絡を取り合い、高齢者福祉施設や保育所など、時間の許す限りたくさんの方に、お手玉を楽しんでいただきたいと、斎藤さんとも勢力的に5ヶ所の施設を回られました。訪問先では、それぞれ大歓迎を受け、笑顔での交流を図ることができたそうです。斎藤さんは、福島市に住んでおられ、ご自身もたいへんな状態ですが、「私よりもっともっと困っている人がいるから…」と、震災直後から各種の施設にお手玉慰問をつづけておられます。今回も今村さん、川元さんらと同行され、一緒にお手玉で慰問に参加してくださいました。お世話くださった斎藤さんに、心から感謝し、お礼を申し上げます。



福島市の保育所の子どもたちが元気になる



高齢者福祉施設でのお手玉遊び実演

忘れかけている昔の遊びは、幼児期にもっとも大切な指導方法としてよみがえる！

## 楽しく歌ってお手玉を保育に活かそう

### 新居浜市保育協議会の 全体講習会でお手玉遊び

新居浜支部



新居浜支部は、11月12日、新居浜市保育協議会が開催した全体講習会、「楽しく歌ってお手玉を保育に活かそうお手玉を」で、講演とお手玉実習を担当しました。講習会は、新居浜ウイメンズプラザで行なわれ、150人の保育士が参加しました。

講演では、日本のお手玉の会の武田信之理事が、「手から心へ、ぬくもりを」のテーマで、お手玉遊びが子どもにもたらす効果、みんなと一緒に遊ぶ楽しさの演出、思いやりの心を育てる工夫、歌を歌いながら楽しく行なう、などについて話しました。

お手玉遊びの体験では、日本のお手玉の会の今村シメ子師範代と、神郷お手玉クラブの武本京子さん、近田敏子さんの指導で、ウォーミングアップ、一個でできる遊び、両手2個、片手2個などゆり方の練習、お手玉回しなどグループ遊びなどの実習をしました。

会場いっぱいにお手玉が舞い、笑顔と歓声が絶えない、楽しい講習会となりました。参加した保育士さんは、「とても楽しい講習会でした。この楽しさを、保育園に持ち帰り、園児と一緒に楽しみたいと思います。ありがとうございました」と話していました。



会場内満席



参加者全員で実施



歴史を語る



■小中学生や保護者、学校の先生方、教育関係者、ライオンズクラブのみなさんに笑顔をいっぱい浮かべお手玉の温もりと魅力を伝える。

日本のお手玉の会の武田理事は今、ひっぱりだこで大評判！

評判の理由はここに

指導者マニュアル編集  
本が大活躍

### 武田理事が 新居浜こころのことは コンクールで記念講演

「夢を持ち、夢の実現に努力しよう」

新居浜市で、市教育委員会と新居浜中央ライオンズクラブの主催で、11月20日(日)、「第6回こころのことはコンクール」の作品発表と表彰式が、ウイメンズプラザで行われました。表彰式には、市内の小中学生と保護者、先生、教育関係者、ライオンズクラブのメンバーなど約300人が参加しました。

その席で、記念講演として、日本のお手玉の会の武田信之理事が、「手からこころへ、温もりを、夢を持ち、夢の実現に努力しよう」の演題で、お話をしました。

お話の内容は、お手玉遊びの活動とお話の温もりの伝えあい、マイナスをプラスに変える考え方と取り組み、夢を持って努力すれば素晴らしい出会いがやってくる...と、体験に基づいた話をしました。

武田理事は、最後に「自ら、が燃える熱意を持って、日々の出会いを大切にしよう」と呼びかけ、参加者の共感を得ていました。

だれでもできるお手玉遊び指導マニュアル集ができました。

だれでもできる  
お手玉遊び  
指導マニュアル集

大評判

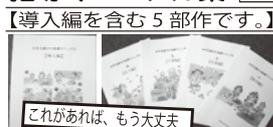
しかも、導入編以外すべて、  
テンポを各編にあわせて編集した  
BGMが付いています。



BGM 編集曲 (7 曲入り)

あんたがたどこさ ♪  
一番はじめは  
むすんでひらいてなど

指導する場合にも音があれば  
雰囲気演出もできる



これがあれば、もう大丈夫

イラスト図解や写真で解りやすく、使いやすい

たまちゃん通信 NO. 毎月発行

情報と  
お知らせ

温もりを届けたい、手からこころへ.....

たまちゃん通信

日本のお手玉の会本部  
〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号  
TEL0897-32-0302 FAX0897-32-0311

平成23年4月全国支部長会の中で、支部会員からもっと本部からの「情報が欲しい」とのご要望やご意見があり、本年5月より、たまちゃん通信として、会員の皆様へ発信をいたしております。

できるだけ郵便送料費をおさえるため、ご自宅のFAXやEメールでお送りさせていただきます。ぜひ、皆様方のご自宅のFAX番号やメールアドレスを本部へお知らせください。お待ちいたしております。



【発行・編集】

日本のお手玉の会

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号 銅夢にいほま内

TEL/0897-32-0302・FAX/0897-32-0311

E-mail:tamachan@otedama.shikoku.ne.jp

ホームページ: http://www.shikoku.ne.jp/otedama/